

マイアミ・トゥデイ紙に掲載された岡庭総領事インタビュー記事「See US-Japan trade gains in Trans-Pacific Partnership」（2月11日付）（日本語概要）

1 質問：日本とフロリダを結ぶどのような貿易チャンスがあると思うか。

回答：マイアミはフロリダ州と日本同様、ハイテク産業に優れているため、多くの機会がある。我々は有能な労働力、優良なインフラを有している。フロリダ州には200社の日系企業が進出し、約26,000人の雇用に貢献している。また、日本は有形固定資産外国直接投資で第一位である。マイアミ近辺では、IT、薬品、ロジスティクスの企業がいくつかある。これらはフロリダ州が得意とする分野であり、日本とフロリダ州は経済交流を促進することで、共通の利益を生み出すことができる。

2 質問：マイアミデード郡と日本の投資と貿易の新しい道があると考えているか。

回答：2月4日に日米他10カ国がTPPに署名したことにより、日・フロリダ貿易・投資における歴史的な岐路を迎えている。TPPは商品、サービス、人の動きを自由化する。日本とフロリダ州にとって、TPP参加国における輸出や投資を促進するための連携が容易になる。また、パナマ運河拡張によって、米国東海岸とアジア太平洋地域の貿易アクセスが容易になる。マイアミはこの展開によって大いに裨益すると考える。

3 質問：南フロリダにおいて如何に将来のビジネスが進展するか（日系企業に）助言することも貴官の役割か。

回答：大いにそうである。特に、TPPに関して役割がある。TPP参加国で生産する品物は無税で輸入されるようになるため、日系企業にTPPを如何に利用するか啓発していきたい。また、日系企業はTPP参加国に無税ないし低率関税で輸出ができるようになる（TPPは12カ国から成る世界最大の自由貿易圏を作る）。

4 質問：TPP署名後、今後のステップ如何。

回答：TPPが署名されたら、日本政府はTPP関連法案を国会に提出し、批准に向けた承認をとる必要がある。また、米政府でも同様の手続きが必要になる。フロリダ州民が米議会によるTPP承認を求めることを願う。

5 質問：TPP批准を実現するために働きかけをしているか。

回答：取り組んでいる。